

広報 ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所 電話(018876)2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行



五城目町長

加賀谷力司

年頭にあたつて

り、恋地スキー場にはリフトが設置され、坊村橋の橋脚が打

町民の皆さま明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆さまの一層のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。ことしは、ただいま建設中の大川小学校と西野台地に建つ五城目高校の新校舎に児童、生徒が移

ち込まれます。

そして、町部の中央線道路改良工事、省館線道路改良工事、磯ノ目地区区画整理事業、昭辰下水路築造工事、省館運動公園築造工事等を一步前進させながら、農村部の生産基盤と環境基盤の整備もなお一層進めるほか、同じ町内にありながら他の地域に比較して住民の生活文化水準が低い辺地に対して格差是正を図るための事業に着手する一方、町道舗装のスピードアップに努めたいと思います。

今日、地方財政はかつてない危機に直面しておりますが、皆さまのご理解とご協力のもとにこれを切り抜け、町民福祉の増進、教育の振興、交通輸送体系の整備、都市計画事業の推進、生活環境の整備、産業の振興などの施策を町部と農村部の均衡を図りながら、積極的に進めたいと思います。どうぞ皆さま、一層のご協力をお願い申しあげます。



初春の門出

(神明社で)

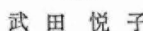
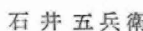
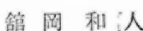
(広報紙中にある写真を欲しい方にはお
あげします)

スポーツは体と精神を鍛える

それまで待ち続けていた町民のスポーツ熱は噴き出すようににじみ出て、利用者は月平均一万人も言われ、それが起爆剤となつて県民スポーツ、全国青年体育大会、全国中学校バスケット大会など県内外の試合はもちろん、高校バスケット界で六連覇の偉業を遂げた能代工高チームでも本町出身の選手が大活躍するなど、スポーツの町五城目にふさわしい内容の五十二年であつた。

新年に当りこの人々の活躍の後をふりかえりながら、スポーツ人口の低辺の拡大と町民の体力づくりを進め、明るく健康な町づくりの基調とするため、座談会を開いて町民の参考にすることにした。

加賀谷町長



ていた。勝敗は別としても、この三年間は自分が何かに集中出来たと言うことで納得しているし、最高の年であった。

責任を果すことができた

三浦：昨年はおかげ様で三つの大会を一昨年同様制覇出来て、一応責任を果したし、五二年以後の橋渡しも出来たので昨年は充実した年であった。

司会：パレーの畠山君はどうでしたか。

責任を果すことができた

たか。

全国のトップレベルと試合できた
 島山（正）：昨年は国体に出て、
 全国のトップレベルの試合を見て
 大変参考になったし、今年のため
 に大きな力を得たと思っている。
 いる。

司会：社会人の方は渡辺さんからひとつお願いしたい。

渡辺：中、高校時代六年間バスケットをやっていたよかった
 ットをやってきたが、社会に出て職業に就いている人々と組んで初めて全国大会に参加することが出来て、今まで止めないでやって来たことを本当に良かったと思っています。

司会：荒川さんはどうですか。

荒川：私は別にバスケットが上手なわけでもないし、この一年間練習のために選手を集めることが難かしかったのが、最も印象が深い。しかし、中、高で果せなかった全国大会へ出場出来たことは嬉しく思っている。

会：あけましておめでとうござ
います。五十一年は、五城目町
から県または、東北地区を代表
してスポーツをはじめ、各方面
で全国の檜舞台で活躍した選手
が非常に多く、町民も非常に心
強く誇りに思っているところで
ある。

新年に当り昨年全国的なスポ
ーツ大会で大健闘した皆様から
その反省と新年に対する抱負を
語ってもらい、この町のスポー
ツをますます盛んにするための

参考にしたいので、忌さんのないご意見をどしどし出してください。さるようお願いしたい。

はじめに加賀谷町長からあいさつを。

町長：みなさん今日はお忙しいところよくおいでいただき感謝したい。昨年はスポーツ面で活躍をし、立派な成績をあげてくれたことに、町民はわが事のように喜び且つそのために大変勇気づけられている。

広域体育館もみなさんのようなスポーツを愛好する層の厚さに支えられて出来たもので、体育館が出来てから町民のスポーツ熱もますます盛んになって来ているように思っている。

運動公園の利用月一万人

体育館が出来てから、ちょうど一年になるが、一カ月一万人以上が利用している。実際スポーツをやる方は四万人位と聞いているが、そんなことなどもあ

って、みなさんをはじめ各方面において大きな成績を挙げている。このようなことを踏まえながら町民からスポーツに関心を持ってもらい、町民の体力づくりをすすめながら、健康で明るい町づくり役に役立たいと思っている。

限られた時間ではあるが活発な発言をお願いしたい。

司会：それでは始めに、昨年をふり返ってみて最も印象深かったことを、五一中の門閤君から。

充実した中学校生活

門問：バスケットをやつてきてスポーツの良さとか、いろいろな面で大変多くのことを学ぶことがあつた。そのために充実した

中学校生活が出来てよかったと思つている。

司会：畠山君はどうでした。

全国大会に出場出来た良い年

畠山（武）：今門間君が言つたように、部員はもちろん、父兄の方々と親しくしたり全国大会まで駒を進めることが出来て大変よい年であつたと思つている。

司会：畑沢先生監督の立場から

全国大会に出場する条件を

畑沢：正直言つて、昨年は全国大会まで出場出来るとは夢にも思わなかった。おかげ様で二度目

の東北大会を優勝で飾ることが出来て、私自身感慨の深い一年であったと思っている。

これは選手の実力も去ることながら、学校の態勢や町当局のご配慮とご支援、それに父兄各位がすべての面で非常によく心から支えてくれた。

加えて、この町に立派な体育館が出来て、これを利用できた事も全国大会に出場出来た条件の一つだと思っている。

司会：高校バスケット界で大活躍

?

最高の年であつた
館岡：昨年は高校生活最後の年な
ので、思ひっきりやろうと思つ

て通

司会：石井君は長距離ランナーで全国大会に出場した訳だが、毎日自宅から職場まで走ったというエピソードの持主でもあるが、今年はどうでしたか。

ただ走り続けた結果

石井：私は全国青年体育大会に出場出来るとは夢にも思っていなかった別にそれを目標にしたわけでもなく、ただ好きで毎日走り続けただけであつたので幸い出場出来てよい年であつたなあと思っている。

司会：最後に武田さんからひとつ

二年連続の国体出場は

幸運であつた

武田：長い事バスケットをやつてきて、国体に出場するのは夢であつた。五十年はその夢が実現したもの、ミニ国体でひざを痛めて思う存分活躍が出来なかつた。しかし、昨年は社会人一年生でまた出場出来て非常に幸運な年であつたと思つている。

司会：町長から今までのお話を伺つて何かありましたら。

目標の設定を大きく

町長：山登りも、はじめ森山でも次は鳥海山や富士山に登る過程であると思つている。どんなに

高い山でも、登つてしまえば他人からは簡単にみえるだろうがなかなか簡単なものではないだろうと思う。

スポーツに勝つことも山登りと同じで、全国大会なり東北大会で頂上を極めたということは目標設定を漫然とやつていたのではだめであつて、目標設定が大きくなればなる程大変に生きてくると思う。

司会：能代工業の方が三人いるが何時か加賀谷町長が東京でタクシーに乗った時、外のスポーツの試合はあまり見ないけど能代工業のバスケットの試合だけは必ず見ているという運転手に会つた話を聞いてるが、町長から今少し詳しく紹介していただきたい。

見知らぬ運転手の話に感激

町長：あれは東京のどこで乗つた時かよく記憶にないが、乗せてもらったタクシーの運転手とまたバスケットの話になった時、能代工業チームの事を非常によく知つていた。そして能代工業の試合は必ず観戦するし、この試合の時は観衆も多いと言つていた。どうして観に行くのかその訳を聞いたら「非常に礼儀が正しくて、本当に高校生らしい試合をやってくれるし、試合ばかりでなくその前後の節度が良い」と感じ入つていた。私

は、も田県人でもない見ず知らずのタクシーの運転手が、その事を語ってくれた時は、さすがに嬉しかった。

司会：館岡君たちが試合をやつてゐる時のポイントはどこにおいで。

バスケットは必要最低条件の精神力を養う前提として

館岡：試合をするからには勝ちたいわけだが、能代工業のバスケットの練習は、人間育成に主眼をおいてやつてゐる。

それで勝敗は別として、人間が生きていく上で、必見最低条件の精神力を養うためにやつてゐるクラブなので、好むと好まざるにかかわらず、自然に礼儀の方も正しくなるものにつな

町長：普段からその面を意識してやつてゐるのか。

館岡：監督の指導方針は第一条件はあくまでも精神的に立派な人間でなければだめだとしており勝つためばかりでなく人間形成に目標を置いてゐる。

司会：三浦君その辺いかがなもの

生活態度にも厳しさ

三浦：日頃の練習でもプレーだけでなく、生活態度に対して厳し

さがある。それが先輩から後輩にという具合に伝統的な気風が育まれてきているから、礼儀の正しさなどは、ごく普通の事として出来るようになってゐる。

司会：畑沢先生からチーム作りのポイントをお願いしたい。

能工の加藤監督めざして

畑沢：私にはあまりその発言の資格はないと思つてゐるが、館岡君が言つたように、能工の加藤監督の指導力のすばらしさを参考にしたがら、出来るだけ取り入れるように努力しているがやはりマナーと根性を持ち合せた人間を育てるのが先決で、それさえ出来てしまえば、技術は並行していくものだと思つてゐる。加藤監督を目標に努力していきたい。

司会：門間君や畠山君今まで一番苦しかったとか、面白かったとか何かあつたら。

門間：やはり東北大会の優勝で、練習のきつい面なども、今考えみると、楽しかったの一言につきると思う。

日常生活の監督も厳しかった

畠山：うちの監督は練習の時も厳しいが、日常生活の面でも厳しかった。中でも服装とか髪長の長さなど見苦しい時は容しやのない叱声が飛んで来た。

何時か冬道を下校する時、自転車で二列に並んでいたと言ふことで、次の日から自転車通学を禁じられて歩いて通学させられたことが強い印象に残つてゐる。

司会：さて五十二年は、学校を出

られる方、更に上の学校に入る方など、いろいろな立場の違いはあるけれど、新しい年に對する抱負をお聞かせいただきたい。

畑沢：優勝した翌年は非常に困難が伴うけれども、全国大会を目標に掲げて指導していきたい。

司会：門間君と畠山君は中学校を卒業するわけだが、高校に入學しても続けたいのか。

門間：まだ結論は出ていないがバスケットを続ける場合は能代工業に進みたいが、止める場合は普通高校にのぞみ勉学に励みたい。

畠山：一応高校に入學出来た時点で考えたいが、もし合格すればなるべく部に入つて続けたいと思つてゐる。

司会：女性のみなさんはどんな抱負を持つてゐるのか、聞かせて欲しい。

渡辺：高卒後四年もやつておるので、そろそろ潮時だと思つてゐる。

荒川：今年は高卒者に積極的に呼びかけて、もっと強いチーム作りに努力したい。

司会：石井君の場合は。

石井：昨年は本当のかけ出しであつたので、今年はとにかく、昨年の大会での失敗を薬に走りま

司会：畠山正博君は、今年のバレーのポイントをどこにおきたいと思つてゐるのか、抱負を語つて欲しい。

畠山：昨年は国体で優勝チームと対戦することが出来た非常に参考になる場面が多かつたので、今年は練習を通じてこれらの技術をマスターしながら、どこへ行つても他のチームにないものを身につけて立派なチームを構成する一人になりたい。

司会：三浦君は家の方へ帰つて来るのか。

エンカレの優勝めざして

三浦：まだ大学の方が決まらないので何とも言えないが、もし入學出来れば僕の希望している大学は、今年エンカレで準優勝しているの、優勝をめざしたい。

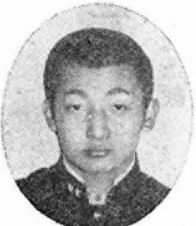
司会：館岡君の計画は。

最初からまたやり直す

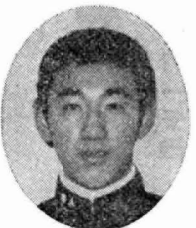
館岡：僕も一応進學を希望しているが、入學出来た場合はバスケットを最初からやつてみようと思つてゐる。大学のエンカレではせめて四位に喰ひ込みたいと思つてゐる。



畑沢 正作



門間 良雄



畠山 武春



渡辺 輝美



荒川 美紀子



司会 伊藤 助役

十二月定例町議会終る

昭和50年度 一般会計決算等認定

補正額 九千二百六十六万一千円

町議会十二月定例会は、去る十二月十五日から二十五日まで十一日間にわたって開かれた。

附議された案件は、昭和五十年一般会計歳入歳出決算など十七件で、また補正予算は、冷害に伴う農家の救済事業費として二千二百三十三万七千九百九十九円六十六万一千円の補正額となり、既定予算と合算二億五千六百四十七万二千円となった。昨年の同期と比較して〇・一％の減となっている。

なお加賀谷町長は今任期最後の定例会に当り、議会審議を通じてその評価を仰いだ。決算委員会から五十年定例決算に対し六つの指摘事項を受けたが認定され、その他の案件も満場一致の可決をみた。以下行政説明ならびに一般質問の主な内容は次のとおりである。

町長の行政説明

加賀谷町長は冒頭に今回の定例会をもって、今任期最後の定例会になるので、今まで議員諸氏と共に施行してきた事の概略を報告申し上げ、引き続き町教を担うべきかどうかの、私の判断に対して、皆様のご意見をうけたまわり、お力添えをいただきたいと述べた。

冷害の状況と対策

冷害対策本部の報告によると、九月三十日現在で十アール当り四九三㌔となり、平年作比九・二％前年比一六・一％の減収にとどまった。

しかし、山間部にあつては天災融資法の適用を受ける基準の五〇％以上、あるいは三〇％以上の被害をうけた農家もあり、一方平担部では米の品質低下はあるものの

四四haに対し、六千七百五十六万円となり十二月二十五日まで農家に支払われる。

大川小学校建築工事について

この事業は校舎を普通教室棟と管理棟に分け、更に体育館と給食室となっており、本年度から三カ年計画で進めている。

普通教室棟と給食室は本年度内に完成し、管理棟については、明年五月末まで完成する予定である。なお現在工事の進捗率は約六八％で、年内には内装と外装を残して、殆んど完成する見込みである。

主な一般質問

質：四カ年の加賀谷町政をふりかえり、実績をどう評価しているか。

町長：今年の冷害のように厳しかったわけであるが、フタを開けてみたら、みな様のご協力や職員のおんがにより、等級は下つておるかも知れないが、平年作を維持出来たのではないかなと思つてゐる。

質：次期首長選への取組みについて。引続き担当するならば、その姿勢と政策を示せ。

町長：出来るならばみな様方と一緒に、長期計画の推進に努力したい。長期計画の推進に努力したい。力を合せてすゝめたいものだと思つてゐる。

具体的姿勢と施策については、殆んど長期計画の中に提示してあるが、私の考え方を

なべて申し上げるならば、一、馬場目川の水を中心として、町づくりの基盤を確立したい。二、町づくりの構想を練る段階から、ようやく基礎作りの段階に入つた。

三、基盤整備をすゝめていく上で小刃細工でなく、ナタ細工の段階ではないだろうか。

このような見解に立っているがみな様方から迫られてはいるひとつの決断のためよくご理解いただき、その判断の資として今定例会の審議を通じて、ご助力をいただきたいと思つてゐる。

質：農道整備事業の推進について大川地域内における農道整備事業が、地域住民の理解不足のためか、折角の計画も取り止めたは一時中止の現況にあるようだが、今一度実現させる意向はないか。

機が熟せば取り上げたい。

町長：お説のとおり町のPRが不足のためか、五十二年事業として取り上げる事は出来なかつたが、ただ今のご意見を踏まえて、機が熟せば五十三年度からでも取り上げていきたい。

質：人口流出の防止対策について

・地場産業並びに誘致企業
・宅地造成
・町外流出防止対策について

町長：人口の流出防止対策については、みな様のご期待に添えずお詫び申し上げたい。しかし平均してみると人口の減少傾向が鈍化している状況である。これはみな様方からの指導とご配慮の賜だと思つてゐる。

質：道路問題
蛇喰落合間を自転車通学出来るように。

町長：この問題を重要視して、一般知事が来町した折にもこれを取り上げお願いしたことは、みな様もご承知のところ、その後県と話し合つて何とか取り上げる方向で、県では検討しているところである。

杉沢・小野台部落

整備モデル事業で

杉沢、小野台部落の何れも農村総合整備モデル事業計画の中に入っている。杉沢部落の場合、県道秋田八郎湯線の分岐点を起点とする二級町道杉沢線、延長一五・三m、巾五・五mとなつており、部落と調整をしながら是非実施したい。

小野台部落の場合も部落長を通じて、道路用地取得の話し合いを進めており、それが決まり次第工事着手したい。

町道整備来年度からスピードアップ

未舗装の町道はすべて舗装したい。そのためには、まず道路改良をなるべく補助事業にのせながら進め、できないところは町単独事業で実施して引き続き舗装したい。

このような方針のもとに、ただ今整備を進めているところである。町道の機能を十分發揮させるためには、橋の永久橋化が前提であるとして、積極的橋の永久橋化に努めてきたところであるが、大きな橋十八橋を整備、残るのは坊村橋だけとなっている。従つて今後橋梁永久橋化に向けた自主財源を、その外にまわ

る。

指摘事項に配慮

地場産業の振興に関しては、企業誘致条例を適用したり、準用したり、あるいは町独自の金融措置を講じたり、更に商工会などにいろいろのご配慮をお願いしている次第である。

企業との話し合い、あるいはアンケート収集等に関する指摘事項に対しては大いに配慮していきたい。

流出防止に職場と宅地の確保

宅地造成の件に關して開発公社の仕事にも触れていただいたが、わが町の公社は主として、公用地の先行取得を主眼に、設立したものではありません。昭和四十六年から四十九年まで四十六戸分の土地を造成し分譲している。

大川下樋口の二十三戸の宅地造成をはじめ、山内と田町の境界のところ、広ヶ野などに立派な住宅が建つてゐるが、すべて公社が宅地分譲したところで、現在は神明社裏に公営住宅用地として、約二十五戸分の宅地造成をしている。

人口流出の防止は何と言つても地場産業の振興を図りながら働く場所を確保し、安宅地への供給が先決だと考えておるので、ただ今質問を激励と受けとめて、今後も一層の努力をしていきたい。

質：道路問題

蛇喰落合間を自転車通学出来るように。

杉沢、小野台部落内道路の整備舗装すべきだと思つてゐるか。

各地地区の県道は県で検討

町長：この問題を重要視して、一般知事が来町した折にもこれを取り上げお願いしたことは、みな様もご承知のところ、その後県と話し合つて何とか取り上げる方向で、県では検討しているところである。

す事が出来るし、更に今年度から道路整備のための起債も認められており町道に關しては、来年度から積極的に取り組むので従来よりかなりスピードアップされるものと思つてゐる。

質：移動町民室について

・移動町民室の成果をどう受けとめてゐる。

・要望、要求を今後どのように満たしていくのか。

町長：今年の出来過ぎ者は十一月末現在でまとめた数字では、二七三名で昨年同期より六〇人減つてゐる。

町としては救農対策として、今回の補正に町単事業に約二十万円を計上してゐる。役場に登録している土木業者で仕事を休んでゐる方はおらないと思つてゐる。救農事業に対しては直接でなくとも、間接的にお手伝い出来るものは積極的に取り上げていきたい。二月には政府の補正が見込まれてゐるので、積極的に要望をしながら事業の拡大をはかつていきたい。

町長：私たちはそれなりに成果があつたものと受けとめてゐる。七月から現在まで十一回開催しているが卒直な意見が多く非常に参考になつてゐる。

・要望、要求に対しては、すでに予算化や実施してゐるところもある。また新年度予算を組む段階でも各部課で検討を重ねてゐる。

またそのような考え方で、町全体の計画も練り直しをしようとする問題もあり、今それぞれ手がけてゐる。

来年度から現場踏査

今後このような機会を持ちたいし、今後は執行部が一日がかり、または宿りがけで直かに足で歩き実情を調査したい。

なお、町内部落会とはより婦人会など各種団体との対話の場を持つていきたいと思つてゐる。

質：稲作冷害対策とその後の状況

・救農土木事業
・共済金の支払
・出かせぎ者の状況

救農対策事業に二千万円を計上

町長：今年の出かせぎ者は十一月末現在でまとめた数字では、二七三名で昨年同期より六〇人減つてゐる。

町としては救農対策として、今回の補正に町単事業に約二十万円を計上してゐる。役場に登録している土木業者で仕事を休んでゐる方はおらないと思つてゐる。救農事業に対しては直接でなくとも、間接的にお手伝い出来るものは積極的に取り上げていきたい。二月には政府の補正が見込まれてゐるので、積極的に要望をしながら事業の拡大をはかつていきたい。

質：県立五城目高等学校林業科の廃止について町の考えを問う

・普通科増を要望
・湖東部全中学校長等

町長：五高の林科廃止について、これは長年の懸案事項であつた。私たちが反対しても、志願する生徒がおらない場合どうなるのか。

議決された主な議案

・議案第六十三号

五城目町森林総合利用施設

本案は、林業構造改善事業の一環として着工した五城目町字児品沢地区の「五城目町森林総合利用施設」の設置と管理を規定した条例を制定した議案。

・議案第六十四号

五城目町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する

か。五高に対して湖東部中学校長全員の署名で、普通科を増やしてもらいたいとする陳情が出ている。

志望者「稀」である

私はこの陳情書を見る前までは志願者が不足であると言う前提にたつてこの問題に対処してきたわけであるが、この陳情書には、林科志望者は「まれ」であるという字句になつてゐた。

私たちが反対しても阻止しても志願者が「まれ」であると言ふ状態が続く限り林科が当然自然消滅になるわけで、この状況にどう対処するかと言うことが大切でないかと考えておる。

私は別に賛成するとは言つてないが、このような状況はみな様方と判断の基準にしながら結論を出さねばならない、一林科の存廃問題も大切であるが、それと同等以上に五高そのものを更に振興させることを同時に検討する段階でないだろうか。

・議案第六十五号

五城目町特別職の職員の給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する

・議案第六十六号

教育長の給与、旅費及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定

本町の教育長の給与と改定を旨とする条例改正議案。給料月額については、次の議案として上程し、一般職の職員の改定案に準じて月

額一九六、六〇〇円を二、六〇〇〇円に改めてこれを本年四月一日から支給する取扱ひとし、十二月支給分の期末手当については、改定によりすでに支給された額との差額については、これを戻し入れをしない扱ひをする規定を制定

・議案第六十七号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正案である。

このたびの改正は、いままでも同様、人事院の勧告による国家公務員に準じたもので、概要は次のとおり。

給料については平均六・八三パーセントの引き上げで、

手当については、扶養手当、住居手当、通勤手当、宿日直手当は引き上げ改正をしてゐるが期末手当及び勤続手当については、現行支給率から〇・二カ月分を削減する規定に改めており、これらの改正は本年四月一日から実施するものとする改正である。

・議案第六十八号

災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例制定

災害により被害を受けた者に対して支給あるいは貸付する弔慰金あるいは災害援護資金について、法令の改正に伴い、その支給し又は貸付けする弔慰金、または災害援護資金の額の引き上げ改正を内容とする「災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例」の一部改正。

・議案第六十九号

秋田県市町村職員退職手当組合規約の一部変更について

・議案第七十号

工事請負変更契約の締結

本年八月十九日議会の議決をいただき施工しております、農村総合整備モデル事業の憩地、坊井地線道路整備工事請負契約について家屋の出入口等の縦断勾配の変更による切土や盛土量の変更、コンクリート擁壁の増設、交通安全施設の増設等による契約の金額の変更に伴い、工事請負変更契約を締結するため、地方自治法第九十六条第一項の規定により議会の議決を求めた議案。

・議案第七十一号

町道の路線廃止

町道下山内山根線、延長七五〇メートル、巾員三メートルを、農林省所管の農業振興地域、農道整備事業として認可申請をし昭和五十二年年度に着工するため、町道の路線を廃止しなければならないので、道路法の規定に基づき議会の議決を求めた議案。

・議案七十二号

昭和五十年年度五城目町一般会計歳入歳出予算認定

・議案七十三号

昭和五十年年度五城目町国民健康保険特別会計歳入歳出予算認定

・議案七十四号

昭和五十年年度五城目町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算認定

・議案第七十五号

昭和五十一年度五城目町一般会計補正予算(第五号)

・議案第七十六号

昭和五十一年度五城目町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

・議案第七十七号

昭和五十一年度五城目町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

・議案第七十八号

昭和五十一年度五城目町水道事業会計補正予算(第二号)

報告一号 継続費精算報告書

請願陳情目録

請願受理番号第一号 用途地域外変更に関する請願書

請願受理番号第二号 県立五城目高等学校林業科存続に関する請願書

請願受理番号第三号 第九号学校給食諸問題に関する陳情書

陳情受理番号第十号 越冬見舞金支給に関する陳情書

陳情受理番号第十一号 昭和五十二年度市町村芸術文化団体の育成に伴う補助金増額に関する陳情

継続審査中の陳情

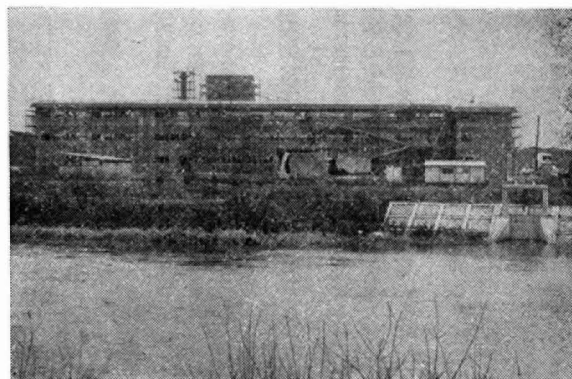
陳情受理番号第七号 秋田難病団体連絡協議会の助成

陳情受理番号第八号 し尿処理場建設反対陳情

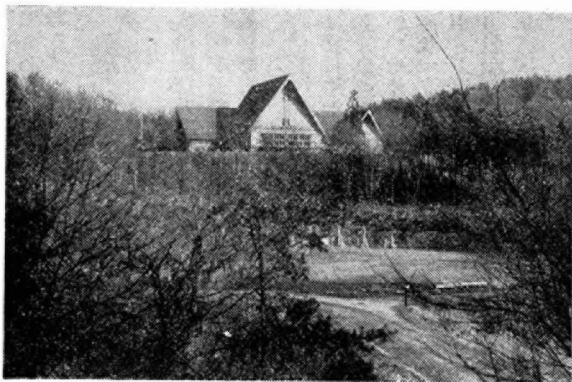
加賀谷町政八年の軌跡



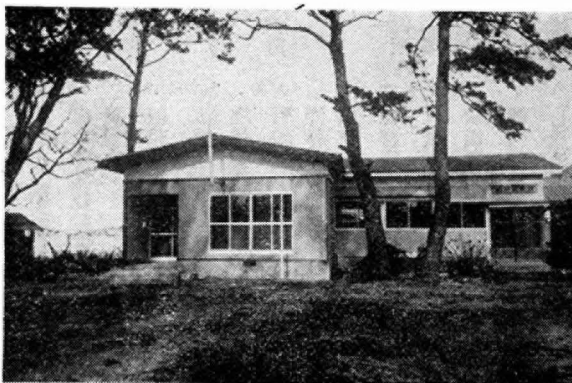
社会教育の殿堂町民センター（50年）



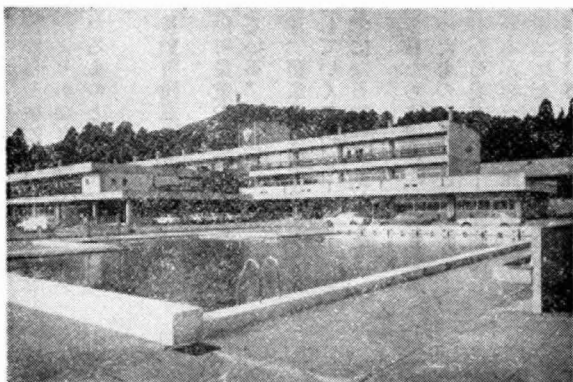
幼稚園から高校まで
一貫教育を行う分教の町（51年）



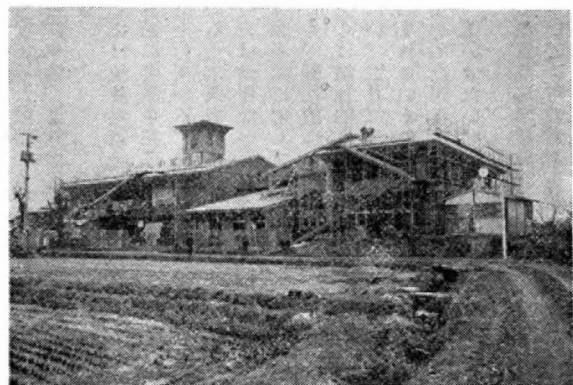
常陸宮阿殿下ご来町で
オープンした鳥獣保護センター（48年）



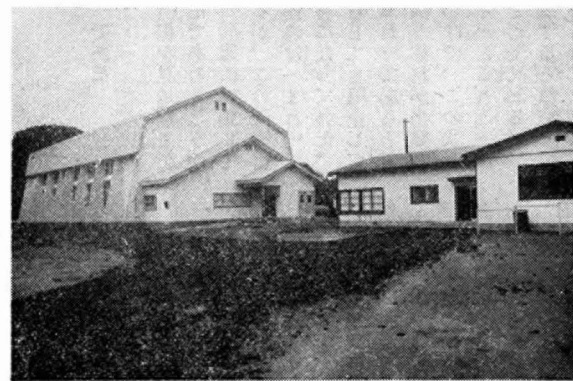
老人集会所・野田部落



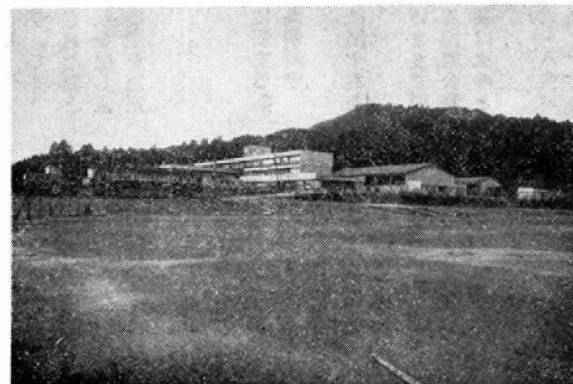
全町小中学校プール
給食施設完備（45年）



大川小学校校舎の改築（51年）



富津内地区コミュニ
ティセンター（50年）



暗渠排水を完備した初のグラ
ンド（五小、45年）



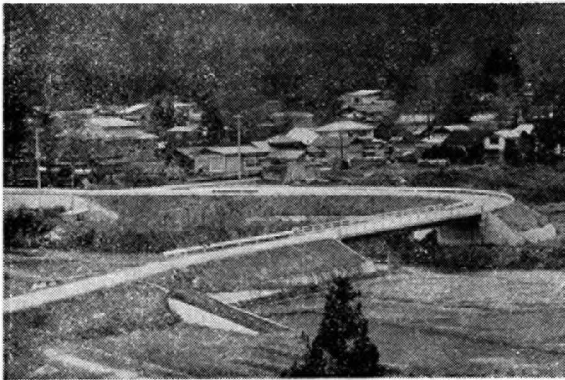
森林総合事業で森山の公園化
51年度に完成 写真は管理棟

ウィンタースポーツのファンで賑わう
恋地国設スキー場(47年)

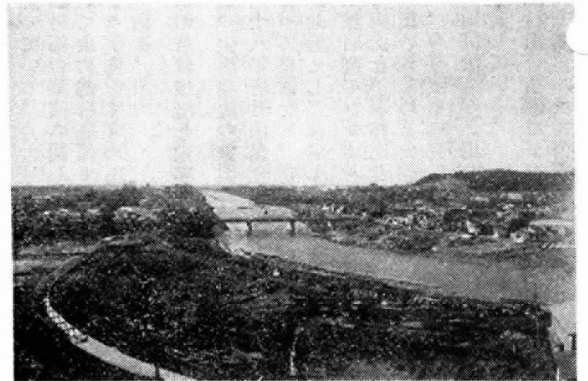


スポーツのメッカ広域体育館(50年)

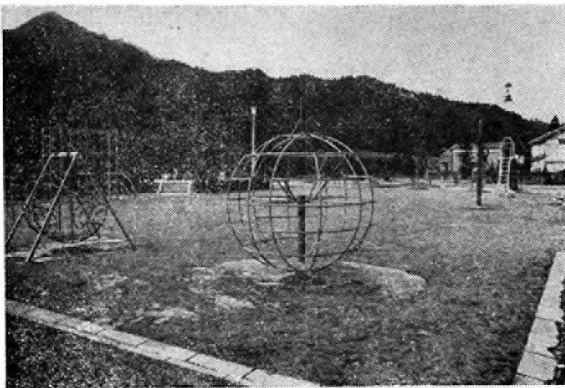
橋の永久橋化17橋
写真は門前広徳寺橋



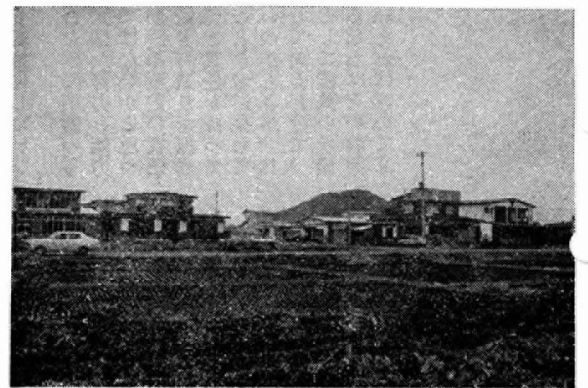
馬場目川河川改修と
磯ノ目地区を望む



農村総合整備モデル事業の第1号
高千農村公園(51年)



開発公社による下樋口宅地分譲地(49年)



森林開発の担手・広域基幹林道五秋線(48年)



中央線改良事業で
移転が決まった如来寺(51年)



十二月定例町議会開会の冒頭に
当り、今回が任期最後の定例会に
なる加賀谷町長から、通算三期特
に四十四年以來二期にわたり町政
に取り組んできた姿勢と、五十二
年度以降に臨む考え方を提示され
たので、その要点をかいついで
お知らせしたい。

通算三期温いご支援に感謝

昭和三十三年六月町長就任以來
現在まで通算三期十二年の間、皆
様をはじめ、町民各位の温かいご
支援のもとに、地方自治の本旨に
徹して、町政の進展に全力を傾け
て来たと思っております。

昭和四十四年就任早々、私は町
政の実態把握に努めながら、昭和
六十年を目標に私なりに町のある
べき姿を設定いたしました。そして、



加賀谷町長

その展望にそって、町政の体系的
計画的運営をはかるべきだと考え
たのである。

総合開発計画を提示

このような考えのもとに、昭和
四十四年度から五十三年度まで、
十一年間の五城目町総合開発計画
の策定に着手、四十五年二月それ
を町民各位に提示したわけである
この中から、第一次、昭和四十四
年から四十八年度の五十年間に三
十六億三千二百百万、第二次四十九
年から五十三年度までの五十年に十
八億八千七百万、合計五十五億一
千九百万円を拾い上げ、限られた
自主財源を元としながら、これら
の事業を遂行するため、出来るだ
け補助事業にのせて実施する計画
をたてた次第である。

町部と農村部の均衡を基調に

この計画実施に当っては、町部
と農村部の均衡を基調に、具体的
には次の内容に取り組んだ。

第一 町民福祉の増進に關して

昭和四十五年に社会福祉法人五
城目町社会福祉協議会を設置し
て、低所得者、ボーダーライン
層に対する木目細かな福祉行政
が執行出来る体制の充実をはか
った。

昭和四十九年には、福祉バスを
購入して、老人クラブや子ども
会の足となつてゐる。

妊産婦と乳幼児に対する栄養食
品の支給、あるいは老人、乳幼
児の医療費無料化など、県、市
施策に先んじて実施している。

幼稚園から高校まで

第二、教育の振興に關して

総合開発計画の大筋に狂いなく

加賀谷町長任期最後の定例会から

町内小、中学校全校に給食施設
とプールの設置を完了。

五城目小学校には四十五年度に
町内初の暗渠排水施設を完備し
たグラウンドを整備。

五城目第一中学校には二棟のサ
ブ体育館を設置、杉沢小学校に
は鉄骨体育館を新設した。

大川小学校は建築中である。
そして五城目高等学校も建築中
であるが、これで幼稚園から高
等学校まで一連の教育施設が整
備され、文教の町としての特性
が更に高く町民に理解され、生
かされることを願う。

国道の昇格、

橋の永久橋化はかる

第三、交通輸送体系の整備

昭和四十五年四月、秋田、森吉
線が国道に昇格が実現した。
四十六年には中央線の改良工事

に着手、四十七年には大川地区
の農免道路が開通。
合併時からの懸案であった慈地
高千線は四十六年開通。
四十八年には広域林道に着手。

馬場目、秋田仁別間は今年中に
開通、これで本町から他町村に
抜ける道路は全部開通する。

一般町道の機能を十分發揮させ
るには「橋の永久橋化」が基本
であるとして、これを先駆けて
取り上げ十七橋の竣工をみてい
る。このため四億一千万円の事
業費を投下している。

都市計画と整備モデル事業で

第四、都市計画事業に關して

町部については、都市計画の用
途地域指定を行い、七倉下水路
の整備に引続き現在昭展下水路
に着手している。

には都市計画事業により、児童
公園を設置している。

園場整備率七二％に

第六、産業の振興に關して

農村部については、園場整備を
主眼として取りあげ、七二％の
達成率になろうとしてゐる。

商工関係については、商工会と
相図らい、商工会に対する助成
あるいは町単独の融資制度を実
施して、各企業の活躍を願つて
いる。

以上皆様の温かいご支援により
どうか長期計画に示めした線に
沿つて、大筋に狂いなく進んで
いけるのではないかと考えている
私は今の五城目町に必要なのは
小さな完成よりも、大きな未完
の完成ではないかと考えている
町が今後どのような姿を志向し
どのようなスピードで仕事をす
め、限りある財政で効率的な運用
を立案しながら、町の将来のある
べき姿を洞察し、町民の幸せを
守るため共に進みたい念願に
変りはない。

引き続き町造りを担当したい

町の体制、土台を確固不動の
ものにするには、大変な努力と能
力が必要とするのではないかと
思つてゐる。長期計画策定の責
任者として、引き続き町造りを
担当したいという希望と責任を
持つてゐるもの、私とき者が果
して引続きやうていいのかどうか、日
々これを反省をしておるわけで、
今定例会を契機として議員の皆様
方から、出来得るならばその判断
にお力を貸し願へば幸ひである。

第五、生活環境の整備に關して

四十八年岩野山保全林を県営に
よつて整備をし、常陸宮内閣下
をお迎えして開場している。

五城目町のシンボルとも言われ
る森山を、森林総合利用事業で
町民の親しめる公園化をはか
った。今年度中に完成の予定。
恋地開設スキー場を四十七年に
創設している。

農村総合整備モデル事業により
高千郷落に農村公園を、昭展町

(三頁よりつづき)

武田：今年は市立O、Gチームに
入らないで、五城目チームで頑
張りたい。

司会：町ではスポーツの振興には
非常に気を使つて、私たちがし
てはあらゆる角度から検討に検
討を重ねて、町の将来にふさわ
しい体育館を建てたつもりだが
見る人によつては分にすぎると
うな体育館だとも言われておる
今日出席されたみなさんが、
このような町の姿勢や考え方に
對して何を望んでいるのか、体
育館を中心にして自由にご意見
を述べていただきたい。

練習 効果 抜群

畑沢：県大会や東北大会の会場に
比較してみても、勝るとも劣ら
ない立派な体育館で、利用者に
とつては特にありがたいと思つ
てゐる。

特に練習の効果が適面で、学
校の体育館で練習するのは、
感覚の面で違いを感じる。
広さを利用してスピードに結び
つけることができるので、パス
ワークの面で顕著な違いが出て
くる。三日も続けると効果が
見える。

全国大会場に圧倒されず

島山(武)：学校の体育館とは違
つた感覚で練習出来たし、全国
大会などに行つても会場の広さ
に圧倒される事もなかった。先
輩達には申し訳ないが、私達の
時から使用出来たのもありがた
いと思つてゐる。

司会：全国青年体育大会に参加し
た時はどんなものでしたか。

町の体育館に誇りを感じる

荒川：全国大会の試合場は東京で
あったが、広域体育館とは比較
にならない程貧弱な体育館で小
さな町でも立派な体育館がある
と言う誇りと自信を持つて来た

司会：町長から、体育館、センタ
ーを作った本当の意味を若い人
々に説明していただきたい。

施設を自分のものに
利用してほしい

町長：私たちは、出来るだけ多く
の町民に使つてもらふために建
てたものでまだ体育館やセンタ
ーに使われているという印象が
感覚的にある。

諸団体の運営の実態を把握したい

青年会でも学校でも使用料を支
払ふことにより、その運営に何
か支障があったら一応町の方へ
報告してもらいたい。町では使
用料がPTAや青年会活動にど
の程度影響を及ぼすかその実態
を把握してから対処していきたい
と思つてゐる。なお使用目的
によつては、使用料の免除にな
るものもあるので、そんな取り
決めに早く自分達のものにして
利用してほしい。

みなさんの躍進を期待する

司会：今年は今までの積み重ねを
大切にしながら、町民のみなさ
んが広域体育館を起点に体力づ
くりの推進に努め、健康で明る
い町にしたいものである。
まだまだ話題は尽きないところ
であるが、みなさんが更に躍進
することを期待して、この座談
会を終りたいと思ふ。長時間ど
うもありがとうございました。

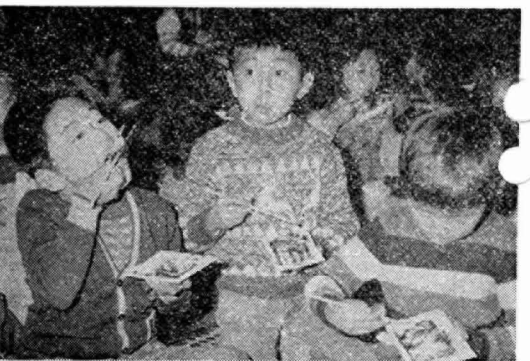
子どもクリスマス会盛況

―築地町―

去る十二月十八日午後四時から築地町児童館に八十名の町内のよい子らが集まってクリスマス会もつき大会が盛大に行われた。

色とりもあざやかに会場いっぱい飾られたクリスマスツリーを前にもちつきが始まった。

荒川要五郎さんが手始めに子どもたちにキネを使わせながらヨイショ、ヨイショの掛け声も勇ましく生まれてはじめてのもちつきにどの子どもの顔も自然にはこぼる。初めて手にもつキネの感触は初々しいばかりひよこり現われた加賀谷町長は子どもたちにもじつともちつきを始める。キネにもちがつけひびくうとしてもなくなくとれず、会場は爆笑のウズとなる。



つきたてのモチをほおぼる子どもたち

このあとつきたてのもちにお母さんたちがせっせとキナコ、アンコをつけ一皿一皿子どもたちに配る。おかわりする子、のどもちがつかえる子など口のまわりいっぱいアンコやキナコをつけ満足そうな顔々である。

やがて暗やみになる

ロソクに火をもしながら

「聖夜」の合唱である。

静寂な中にも子どもたちの素顔がとてもしばらしい。

このクリスマスはことしで十回目を迎える去年からはもちつき大会もくわわった。

荒川要五郎さんが中心になつて子どもたちに「自由のびのびと育つてもらおう」との願いからはじめたのがそのきっかけという外の雨とはうってかわったこの日のクリスマスモチつき大会であった。



我を忘れてモチつきに励む町長

☆……

☆……

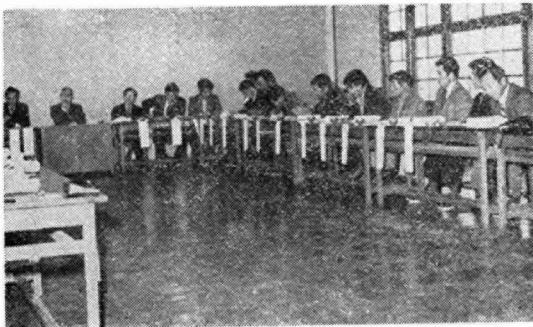
☆……

大潟村農業委員会の一行十五名本町へ研修

一行十五名本町へ研修

去る十二月八日大潟村農業委員会(会長田仲修一氏)一行十五名が本町を研修のため訪れた。

午前中は農業委員会定例会に出



研修中の大潟村農業委員の面々

席、このあと委員たちと農地の相続や権利移動などについて意見交換を行った。

大潟村はことし八月に新しい村に移行したばかりで本町出身者も多い。同村農業委員には石川金之助氏(水沢出身)・田嶋隆一氏(高崎出身)・小玉喜美男氏(小川口出身)の三名が含まれ、明日の大潟村を担う人物である。

このあと一行は町民センター和室でセンター自慢の料理に舌づつみを打ちながら、あすの農業について活発に話しあわれ新生大潟村にふさわしい一日であった。

自動車と税金

今や自動車は、汽車やバスとならんで、私たちの交通の足となっている。そこで、自動車を持った場合の税金についてみますと―国税としては、物品税、自動車重量税が、地方税としては、自動車税、自動車取得税、軽自動車税がある。また自動車の燃料にかかる税金には、国税である揮発油税、地方道路税、石油ガス税である軽油引取税がある。

小型自家用車で、車両重量七五〇キロ、一二〇〇CCクラスのもの取得したときにかかる税金をひろって、その税額や税率をみますと次のとおりである。

▽物品税(国税)出荷価額の1.5%

▽自動車重量税(国税) 二万五千二百円

▽自動車税(県税)二万七千五百円

▽自動車取得税(県税)取得価額の5%

五城目町の100年

79

「市」の歴史 ④

小野 一 二

このシリーズも八十回近くを数えるようになると、なかなか前にすすまない。「市」の歴史の①は六月一日号に、②は七月十五日号に掲載されたが、③は二ヵ月半後の十月一日号まで空白となった。そしてようやく今回、④を読んだ。筆者の都合や紙面の都合で間のびしてしまったことを、心からおわびしたい。

「米座」ひらかれる

昨年発刊の「五城目町史」編さん中の最大の発見は、江戸時代にはわが町に米座が設けられていたという事実の発見である。米座があったということは、経済や産業の上で非常に大きな意味がある。また五城目の米座は、市と切っても切れない関係があったであろうことは、想像に難くない。

江戸時代中期になると、農業の生産性が大きくなり、土地土地に特産品が出来るようになるなど産業、経済の構造も変わってきた。五城目市も小さな在郷市ではなくなっていた。今日のわれわれのみる市は、食料品、日用品を求める場になっている。

このことから類推して、当時も日用品などを農民たちが調達する場であったろうと考えてしまいがちであるが、元禄期になるとこれは当らない。

元禄十年(一六九七)十一月二十一日付の文書によると、城下の久保田、湊(土崎)、五拾野目(五城目)に「米座被立置」している米座がおかれる前には、当然年貢をおさめる米蔵がおかれていたなければならない。後の記録であるが「五十目村御倉焼失」というの

がある。また「五十目御倉云々」という飢饉の記録もある。御蔵町というのは、米蔵がおかれたところ、米沢町というのには米座の開設された場所である。そして、そのいずれも市の開かれる場所にある米座の取引には藩に役銀をおさめる特権的な商人がいなければならぬ。五城目にはそういう実力をもった商人が十七世紀末には育っていたのである。そうした商人は、市の取引から実力をつけていったものであろう。

市の取引は、一般の人々に日用品や食料品を売買するといったものだけではなかった。米座の取引も多分市の日に行ったものと思われるが、木炭の取引、杉皮の取引など、商人や仲買人に大きな売買が市で行われていたのである。

例えば、町史編さんによって発見されたものに、紅花の取引がある。「経済秘録」という文書に「紅花五十目市ニテ買立」たとあり、その紅花は土崎港からの沖出物として他領に移出されている。これと並んで、杉材、種類、家具類も沖出物として記録されているが、これも五城目市で買付けられたと考えてよい。

五城目とこの周辺の特産物は、市に集まる商人のお目当ての商品だったのである。江戸時代中期から後期、そして明治にかけての市にぎわいを思いうかべてほしいものである。

(この項つづく)

巳年の想い

ことは十二支でいえば巳の年にあたる。十二支は昔、中国で十二宮のおのおの獣を充てた暦法とされている。

巳年生まれの人には心の奥深いし、かとお金に一生不自由しないといわれる。そこで巳年にちなみ各方面からその「巳年の想い」を語ってもらった。

大空を駆けめぐる

全日空千歳支店勤務

尾形 弘行

民間航空会社の操縦士になろうと決心し運輸省航空大学校に入學



したのはもう五年前の事になる。入學と同時に、あいつく航空機事故、石油ショック、成田空港問題など航空界を大きく揺り動かした僕達に不安な将来を暗示させた。

現在全日空に入社し同じ道を歩む諸先輩と共に地上勤務を続けているが、まだまだ操縦桿を握り大空を飛べる日は暗く遠い。しかしこれからさきどのような人生を送ろうと全国から集まった四十人の仲間たちと喜怒哀楽をともにしたい。僕にとってはあまりにも大きな意義なき二年半という時期は大きな土台となり心の支えとなっ

て身体の中に生き続けるだろうと思う。自己を律するに足る精神を身につけ、自分の理想に近づく人生を築けるのはもともとと深く広い土台を作ったからだ。つらい事はつらいこと、悲しいことは悲しいこと、また楽しいことは楽しい事なりに自分の信ずべき内なる良心の声を素直に受けとめ今年、来年、さらに十年二十年先までもその土台をつくり続けたい。それが社会人として奉仕の道に通じるものと信じている。

広い視野を

斉藤建材店勤務

佐藤 百合子

月日の流れは早く、とくに二十才を過ぎてからはあっという間に今日になってしまったという感じがす。常に何かやらねばと思いつつも、日常の生活にとっぴり浸りそれで満足してしまっている。この半分もしてきていません。ついつい自分を甘やかす学ぶと



いう気持ちに他を押しやりがちになるがそれだけでなく女性には機会が少なくなるのですから、今までの分を取り返すという気で出来る

限り広い視野を持ち、積極的に行動して、その中から少しでも自分のものとして行けたらと思います。

ひげ

(学生) 小川 公生



ひげを貯えるということが、どういう気分なのか知りたくて数カ月のぼして見た。のぼし始めて一カ月はなんと貧乏くさい顔だったが、日がたつにつれて見映えがするほどではないしろ、まあまあさまであった。鏡の中の自分の顔が他人に思え羞恥心はうすれ虚勢が増していった。

今まで感じたことがないほどの力がこみあげてきて体に充満していった。その結果として行動は積極的かつ大胆になり、態度も横柄になっていった。今までより人間の価値があがったように思えていたからである。その反面、街を我物顔で歩いている自分に気が自分分のあさはかさに愕然とすることもあるが、そのときはそれ以上に自分のひげ面に満足していた。

いつだったか友人宅を訪れたとき、オパアチャンに「神武天皇」といわれ、あまりにうれしかった。それとおとしめた。ひげをそった後でつらつら考えおくれればせながら人間の価値は外見ではなく中味であるということに悟ったのである。

希望の巳年

東京縫製(株)勤務

石川 優子



生きがいとは一体何なのでしょう。一言で言えば私は努力であると思う。一人は皆それぞれ考えがある。ある人は勉学に、仕事に、またある人は子どもの育児にと。だがその反面、利己主義的な考えをするだけ無駄とか言った情性的な考えで自分の小さな殻を破れずにいる人も居るのではないだろうか。それは希望ある人生を自らの手で捨

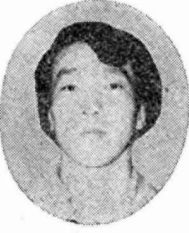
てしてしまったようなものだと思う。ある著者は若ものについて、「未完成の彫塑だ」といっている。私たちはまだ完璧ではない。

だからこそ一人一人が自分の可能性に対して挑戦し努力して行くならば、自分の想像以上の人生を歩むことができるのは必然である。

今年には巳年である。次の巳年を迎えるときは私は三十六歳である。そのとき私は悔いなき生きがいのある人生を歩んでいたいと思う。

スポーツと私

造園土木業 藤田 広志



四十七年の春、学校を卒業して

自営の道に入った。町内のおはよう野球に加入したのもこの年の春もう五年間もつづけている。初めの頃は、朝四時ごろ起きるのがつらくて、何度かやめようと思ったかわからないが、今となると一つの生きがいみたいな時間のたつのを忘れて夢中になっている。こんな小さな町でもスポーツ(野球、陸上、バレー)を通して知り合った先輩や友だちも数多く自分としては幸わせたと思っている。ある時は弟のようにめんどろをみたり、そして兄貴のようにしかってくれたり……何かの活動、スポーツをやっていない人に！わずかもいいから私の幸わせたをあげたい気持ちである。

若者よ、小さな町で楽しいスポーツをやってみませんか。

物事を正面から見たい

大平物産勤務 柳原由美子

24才？自分は、もうそんなにも年をとってしまったのか。それが実感だ。ただ、今までは、自分



のしたいことを先も後もみずにしてきたような気がする。今原稿を書いているといわれて、はじめて自分の立場というものを認識している次第である。

世間でよくいわれる適齢期に達している身としてはひびきに悩み多い年になりそう。でもやはり今まで自分でしてきたものをた

いせつにしていきたいと思う。O.L生活五年自分なりに生活を充実させたいと思い、いろんな事に首をつっこんでいる。純然たる趣味としてお茶を習い、趣味と実益を兼ねて、きものの着付と組ひもをしている。

巳年に思う

スズキ部品勤務

半田 新一郎



ひまがあれば演奏会をきく。中学時代吹奏楽クラブに入ったのが音痴になったわけ、人生にとって切っても切れない縁である。最近県内の各学校で吹奏楽や合唱が全国コンクールに入賞したり年々さかになっていく。

私は音楽を通して人間関係をつくり多くの友人もできた。大へん意義深い。さいわい町にはりっぱな体育館があり、こころはぜひ演奏会を開きたいというのが一音楽愛好者として関係者の協力と音楽愛好家の勇気ある行動を期待したい。

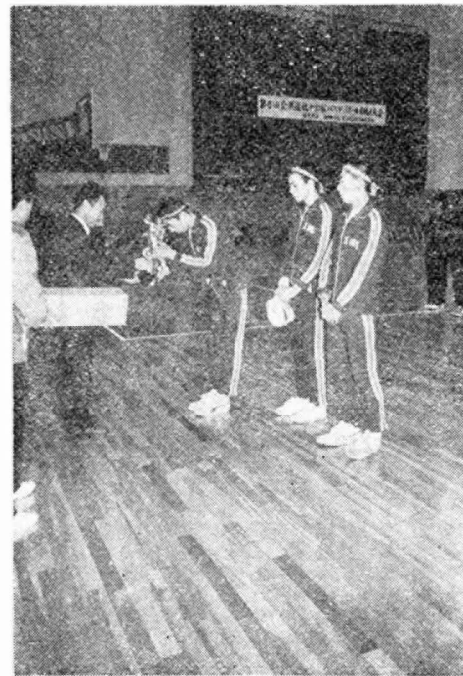
第五回全県選抜中学校バスケットボール大会

五一中男子三年連続優勝

土崎中に勝つ

第五回全県選抜中学校バスケットボール大会は去る十二月十九日広域体育館で行われ、五一中が三年連続優勝を飾った。

決勝に進んだ五一中・土崎中の対戦は、五一中が前半から激しい攻撃を見せ、リバウンド争いでもキャプテンの加藤らの活躍で主導権を握った。後半は土崎のチビッコ選手たちの早い攻撃に五一中も戸惑い一時は追いつ追われつの攻防となったが、地力にまさる五一中がそのまま押し切った。



さきに行われた女子の模範試合で五連覇・秋市高は、市高の貴録勝ちに終わった。試合の成績はつぎのとおりである。

・男子

▽決勝
八郎潟中47(2621)1412 26五城目一中
▽女子の模範試合
秋田市高67(3235)2120 41五城目町
連合青年会

第四回 南秋ミニバスケットボール大会
大川小男女とも初優勝

～1月の全県大会へ出場～

去る十二月十一日の両日、広域体育館と八郎潟小を会場に第四回南秋ミニバスケットボール教室交換大会が行われ男女とも大川小チームが初優勝を飾った。

男子決勝の大川小・五城目小は大川小伊藤、進藤、島崎らの活躍で一方的に五小を敗った。また女子の大川小・八郎潟小の対戦は一点を争う好ゲームを展開、大川小は八柳、小原、伊藤らのリバウンド争いで優位にたち八郎潟小を敗った。

優勝した大川小男女チームは来年の一月八・九日の両日秋田県立体育館で行われる全県大会に出場することが決まり、男子は三関小(湯沢)、女子は山田小(湯沢)と各々対戦することになりその活躍が期待されている。

試合経過はつぎのとおりである

▽男子一回戦

▽一回戦

上小阿仁中41

琴丘中41

▽準決勝

五城目34

一 中34

八郎潟中35

五城目小32

大川小50

大川小50

大川小50

▽女子一回戦
大川小33 22 五城目小
飯田川小26 3 豊川小
八郎潟小48 9 追分小

▽準決勝
大川小28 10 大潟小
八郎潟小16 8 飯田川小

▽決勝
大川小17 16 八郎潟小

(十頁よりつづき)
街灯
昭辰町 斎藤 律子
日中勤めに出て、夜習い物している人は案外多いのではないか。



私もその中の一人である。九時頃終わって外に出ると、暗さを感じ、夜だから暗いのは当然だが、街灯が少なくからそう感じるかもしれない。商店街の方は照らされている。しかし駅へ向かう人は、一本もないと言っているほど暗い。私は駅の方ではないので比較的近いからさほど感じないが、車で通っている人もいる。中には、バスで遠くから来て困っている人もいるのではないかと。大抵、交通事故が起きてから危険だ「直しましよ」となる。泥棒捕えてからなわを探索のと同じで、起きてからではおそい。町を明るくすることイコール防犯にもつながる。

自己の再認識

椎名 耕一郎

毎年、一年の計を立てる時、まづ昨年迄に自分を再認識している。

たかということを思い知る。毎日の生活も仕事も、単に時の連なりで、その中に自分が「した」、「残した」、「やった」と、鮮明に思い返せるものがないのである。もともと自分に自信を持って何事にも積極的に対処しえる情熱を持ち、これからの生活を有意義なものにしてゆきたい。これが私の抱負である。大人になると何らかの責任が付きまとう。そんな時、その「責任」という言葉に押しつぶされたい大人でありたい。



夢

畑町 鎌田 香代子



当年年でもあるし今年もひとつ思い切ったことをしよう! といふのが一般的だと思うが、しかしながら最近若者に限らず人は夢を持たなくなつたとか。私も例にもれず「夢」らしいものは持ちあわせていない。気ぜわしく歩くことの多い毎日ではあるが必ずしも充実してはいないのである。「一攫千金」を夢みる宝くじではないが、いつの時もささやかながら夢を持っていられたら幸である。何れともあれこの当り年、独身女性にとってはうらめしい限りである。友人が子連れで訪ねてきた日の母のグチがそれを明らかに物語る。



佐藤正毅氏(八戸工科大学助教授)

博士論文をパス

(大川谷地中出身)

発電機の歴史は古い。小型でしかも簡単に高電圧を発生する「非圧縮性電流流体力学」発電機の「発電ダクトの最適形状」に関して行われた理論的研究とそれを実証するために行った小規模の実験に

同大学院博士課程で電気工学を専攻、四十八年修了以来、八戸工業大学に赴任され、同大学工学部電力工業の講座を担当しながら研究を進めているもので、若手鋭い学者として学界からその将来が期待されている一人である。

このほど大川谷地中出身で現在八戸工業大学工学部助教授佐藤正毅氏(31才)は、八年余にわたる「電流流体学・直接発電」に関する研究が認められ、北海道大学工学部の博士論文の審査にパスし

もつづくもので未来の発電機として産業界から注目されている。佐藤氏は秋田高校から秋大鉱山学部電気工学科を経て、昭和四十二年北海道大学大学院工学研究科修士課程に進み、さらに四十五年

おしらせ

- あなたの家は安全ですか
- ・消火器や消火バケツはすぐ使える場所においてあります。
- ・備えあれば、わが家は安全――
- ・風呂の水も防火用水に役立ちます。



52年 五城目町消防出初式

式典は広域体育館で

一月六日

五十二年一月六日午前九時

第315号

天皇陛下の御在位五十周年に際し、私達は秋田県五城目町日赤奉仕団の旗を掲げて、去る十一月十六日皇居の桔梗門を参りました。外苑を巡らす松の風景と石畳に連なる濠のさま、更に皇居内の厳かな建造物と極彩的な古い木立が、紅葉の夕映えが美しい。



感激に満ちた皇居奉仕

団長 加藤 ケイ子(石崎)

の音頭を奉唱するに至りました。

へんでしたね。

(奉答) はい(美智子妃)帰りは気をつけてお帰りください。

(奉答) どうも有りがとうございませう。唯々有難く、畏き一念に尽きるのみ、退場の折は団員一同手

五、残留者

各分団のポンプ一台に二名の残留者を置くこと。

但し、一・二・三分団を除く。

六、その他

・当日分団旗を持参のこと。
・当日の総指揮者は、畑沢副団長とする。

消防設備士

甲種・乙種の試験

●日時 五十二年二月二日(水)

甲種 前九時半から正午まで

乙種 後一時から三時半まで

●場所 県正庁、県教育会館、県自治会館

●受付期間

五十二年一月五日～一月十四日

なお右記に係わる準備講習会は五十二年一月二十五日から一月二十八日まで県自治会館で行う。●受

を取り合つての喜びでした。

最後の日は、他県団とのユニークな団らんを交し、ここにまた郷里を離れた者同志の世情の深さを確め合い、他県人との親善的友情は永久に消える事はないでしょう

最後を飾った五城目奉仕団は、天皇、皇后両陛下への(君が代御唱和の音頭を奉唱するに至りました。

の庭に響き流れよと誰しもが声なき声の涙をしそき極みの奉仕中を限りなく幸を感じ、相像以上の満足感を熱海の宿で爆発させ、この意気町造りに励む事を約束して一夜を明かしました。

読願書消防署にあり、

詳しくは(電話二〇二八)へ

卓球の打ち初め 一月二日

第二十二回卓球会の卓球打ち初め

が来る一月五日午前九時から正午まで広域体育館第一体育室で行われる。当日は世界選手権の候補者にも選ばれたことのある中森(旧姓泉谷)光子さんが顔を出す予定で打ち初めに花を咲かせるものと見られる。事務局では全町から多数の参加をお待ちしている。詳しくは猿田和男(電話二四六五)まで。

剣道のけいこ始め

剣道のけいこははじめが行われる一月二日午前七時から九時まで広域体育館第二、第三体育室を会場に小中高生など百名の剣道愛好者が参加するもの。

五十二年度 園児募集

つぎの内容で幼稚園児を募集する。

▽入園資格

・昭和五十三年四月小学校入学する者。

但し、昭和四十六年四月二日から昭和四十七年四月一日まで生まれた者(満五才)で五城目町に在住する者。

▽募集人員 約百六十名

▽手続

一月二十一日から一月三十一日まで入園願書と住民票を幼稚園または教育委員会へ提出のこと。詳しくは幼稚園(電話三四二二)か教育委員会(電話二二〇〇)まで

《只今会員募集中》

お一人でも参加できます

年始上京バス 待たずに乗れる直通バス運行 秋田号 年始上京バス 期日 五十二年一月四日、五日、六日 (三日間) 秋田駅前0番ホーム 十七時出発 (大曲、横手、湯沢から乗車可) 上野着、五時三十分の予定

▽費用 上京バス

全車、全席座席指定制、デラックスバス運行

▽電話申込可

早目にお申し込みください。

▽東京、秋田直通バス利用者募集 出稼者、そして留守家族のみなさん、ごろうさまです。お正月の往復は、直通バスを利用になったほうが便利ですので出稼の方とよく連絡をとりながらお申込みください。

お申し込みお問合せは秋田中央交通(株)観光センター 電話〇一八八(23)四四一一(代) 同五城目営業所 電話〇一八八七六一二二〇

なお東京及びその周辺にいる方が直接連絡する場合は 三八五交通(株)東京事務所 電話〇三(835)七三八五

農業委員会委員選挙人名簿

登録申請書の記入について 農業委員会では毎年一月一日現在の選挙人名簿の登録について有権者からの申請によってその名簿



～納め忘れの保険料はありませんか～

を調整している。申請がないと選挙権等の行使ができなくなる。これは一〇アール(一反作)以上の農地(田、畑、倉)を耕作する全農家を対象とするもので、各地区の農政協力員を通して農業委員会に申請書を提出するものである。

詳しくは農業委員会事務局 (電話二二〇〇) 伊藤まで

国民年金の保険料を忘れずに納めていきます

納め忘れの保険料はないか

料は一度確かめてください

の給付には老後に受け

年金や通算

納付期限までに保険料を納めていないと受けられない場合もあり

ります。保険料の納め忘れをそのままだと二年過ぎますと、納めることができなくなり、年金を受けるために必要な資格期間(保険料を納めた期間)が足りなくな

ります。年金を受けられなくなってしまう。そんなことがないように

保険料は納付期限まで必ず納めておきましょう。

また、保険料を一年分まとめて納めることができる便利で有利な「前納」制度もありますのでご利用ください。くわしくは住民課年金係伊藤まで。